

こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより

平成22年[2010] 8月1日発行

No.14





マンダラゲ

医聖 華岡青洲 生誕250年

- 定例会報告……………P 2
- 市政を問う（一般質問）……………P 4
- 庁舎建設調査特別委員会調査報告書……………P 9
- 委員会報告……………P10
- [特集] 紀の川市の歴史を散歩 Part 7……………P14

紀の川市が生んだ偉人を顕彰し、後世に伝えるため
記念事業を開催します。

- 記念式典・シンポジウム…………… 10月23日 
- 青洲まつり 古都清乃歌謡ショー…………… 10月24日 

映画「華岡青洲の妻」を上映

企画展・講習会・記念切手の販売・標語の募集

厳しい財政状況でも 市民の安全・安心を確保する補正予算

平成22年第2回定例会

平成22年第2回定例会は、5月28日から6月16日までの20日間の会期で開かれました。
本定例会では、25件の議案が提出され慎重に審議した結果、すべて原案どおり承認・可決しました。
また、一般質問では、8名の議員が登壇し当面の行政課題を質しました。



霜の被害を受けた柿の新芽

低温被害に利子補給

今年の3月4月の低温により農作物に紀の川市全体で2億2千700万円の被害が出ました。
被害を受けた生産者が、県の生活営農資金を借り入れた場合の利子補給を行います。(100万円)

林道を安全に

林道紀泉高原線の崩落予測箇所を改修します。(1千100万円)



危険!!

粉河駅周辺の整備を検討

粉河中学校の移転に伴い、生徒が安全に通学できるよう、道路の整備の設計業務や粉河駅地下道の整備を検討する業務を委託します。(630万円)



粉河駅南側地下道入口

新規就農の 経営安定

知事から認定を受けた青年認定就農者に支援を行います。(260万円)

合併5周年 記念事業

紀の川市が誕生してから5年経ちました。市民の皆さんに記念品を配ります。歩みを記した記念誌も発行する予定です。(271万2千円)

華岡青洲 顕彰事業

紀の川市が生んだ世界的偉人、華岡青洲について子どもたちに学んでもらうため、副読本を作成します。(89万3千円)

循環型社会の実現を

太陽光を利用した循環型社会の実現をめざし、地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定事業を行います。(449万円)



太陽光発電 (安楽川小学校)

いっぱん質問

市政を問う

寺西 健次 議員

- 健康推進について

森田 幾久 議員

- 治安状況について
- 市民総合運動場について

阪中 晃 議員

- 紀の川市応援団をつくっては
- 小中学校の給食について

岡田 勉 議員

- 高齢者施策について
- 粉河中学校の改築・移転について

川原 一泰 議員

- 人工透析治療設備について
- 京奈和自動車道粉河インターに対する対応

井沼 武彦 議員

- 紀の川市の農業の現状と未来について

田代 範義 議員

- 子育て支援対策

石井 仁 議員

- 国民健康保険制度について

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。(TEL 77-0892)

女性が元気な紀の川市に

問

紀の川市において、ピンクリボン運動が展開されているが、その取組みの成果と、今後の運動はどうか。

答

保健福祉部長

郷土が生んだ医聖華岡青洲先生が、世界初の全身麻酔薬を発明し、乳がん手術を行ったことから、市民の健康を願い、平成19年度から「乳がん検診率日本一」を目指して取り組んでいる。

まずは那賀病院で超音波による個別乳がん検診を開始し、平成20年に「紀の川市ピンクリボンキャンペーン推進本部」を設立し、早期発見、早期治療の啓発を行って来た結果、検診受診率も年々上



寺西 健次 議員

昇し平成21年度は42.9%となる見込みである。

ちなみに他のがんの検診受診率は、胃がん27.3%、肺がん35.4%、大腸がん33.6%、子宮がん21.7%となっている。

今後の運動の展開として、やはり受診率向上への取り組みであり、今年より40歳の市民へ市長の直筆で検診を受けてもらえるよう、呼びかけの手紙を出している。またセツト検診日を増やすなど、

今まで以上の啓発を行いたいと考えている。

※がん検診と特定健診



万全ながん対策を

問

女性の子宮頸がんに対する画期的なワクチンが承認されたが、その効能接種年齢、費用について問う。

答

保健福祉部長

子宮頸がんはウイルスで感染するため、感染する前の10代前半の女性に接種するのが、一番効果的で、3回接種することで3〜5割の人に、効果があり、費用は約5万円である。

問

市の公費負担でワクチン接種を実施すべきでは。

答

市長保健福祉部長

副作用等、安全性が確認できれば是非取り組みたい。

紀の川市“応援団”

問

荒見で育った34歳の泊幸秀君（東京大学准教授）が、今年度の文部科学大臣表彰で、若手科学者賞を受賞した。

また1年前ノベル賞に近い研究者、粉河の山田かおり（旧堀口）さんの講演会が粉河であり、橋本市から和歌山市までの高校生が話を聞きに来て好評であった。

紀の川市出身の人が、プロ野球の球団やJリーグに在籍し、また経済界では、日産自動車の最高執行責任者の志賀俊之さんをはじめ多くの人が日本や世界で頑張っておられる。私はこのような人々に紀の川市をいろんな人にPRしてもらったらと考える。



阪中 晃 議員



後輩たちへ講演

またふるさと納税もお願いしたらどうだろうか。また各人の専門分野から紀の川市を見ての、提言を頂いては、それと可能な限り文化フォーラムの講師になって頂いてはどうだろうか。

プロスポーツ選手がシーズンオフに若者広場で教える、市内の少年がいろいろのように指導を受けるだろう。科学分野などの学問の世界、日本や世界のマーケットで働く経営者の話が聞ければ、子ども、若者だけではなく、大人も自分の志のエネルギーを燃えさすのではないだろうか。本市が生んだ素晴らしい人々に紀の川市“応援団”になってもらうよう働きかけを、

人的ネットワークの構築

答

企画部長

あらゆる面で本市を応援して頂く人的ネットワーク制度の構築も含め、すぐにとはむずかしいと思うが、取り組みを検討していきたいと考えている。

答

市長

紀の川市をふるさととして、県外国外で頑張っておられる人々がいる中、部長が言ったように、前向きに進めをしていきたい。



川原 一泰 議員

人工透析治療装置の導入を

問 那賀病院にも人工透析治療装置の導入を考えられないか。

答 保健福祉部長
今、紀の川市に透析患者が11名、岩出市に76名の患者がいる。岩出市の紀の川クリニックと本市の名手病院で対応できている。那賀病院への人工透析治療装置の導入に関しては今後岩出市と検討していきたい。

答 市長
地域医療と連携を密に進めて行く中で人工透析装置の設置をする事は専門的にやられている、紀の川クリニックに対してはいろいろなお事情もあり、

今のような状況が続いている。透析を受けている人が他の合併症並びにけがで入院された時に不便を与え、これは迷惑な事であり、岩出市や那賀病院関係者と検討していきたい。

観光地駐車場の見直しを

問 京奈和自動車道の完成を見据え市内観光地駐車場の見直しをしては。

答 農林商工部長
観光振興の為に非常に重要な視点だと考えている。JR和歌山線や貴志川線の乗客を増やす事と同時に公共交通機関の利用とあわせた駐車場整備をする。

粉河寺・十禅律院とともに粉河の町の活性化を住民の皆様と協働の精神で地元協力を頂きながら検討する。



十禅律院塗上門

答 市長

国土交通省と県は粉河インター打田インター周辺の一般道路を整備しなければ大変な混雑が起くる見解を持っている。

紀の川市もこれを重視し、京奈和自動車道を利用して粉河寺を中心に本市を訪れる人々のために駐車場整備も含め、地域の皆様方の意見を聞き相談しながら取り組んでいきたいと思っております。



田代 範義 議員

安心して外出を

問 乳幼児を連れて外出をした折にオムツ交換や授乳ができ、また、ミルクを作るお湯を提供できる場所を『赤ちゃんの駅』と言われていて。

答 市長・保健福祉部長
本市においても設置をすることを考えています。この事業は比較的都市部で、人の集りの多い地域で有効な子育て支援策と考える。紀の川市の場合、住民の生活スタイルが都市部とはかなり違いがある。

現状でも、各支所や子育て支援センター、保育所など公共施設で、申し出があれば『赤ちゃんの駅』と同様の対応ができる施設もあるかと思う。



1歳8カ月、3歳8カ月の子どもには『健康診査』10カ月、2歳6カ月には『健康相談』を実施している。特に、3歳8カ月の健康診査の後も保育所、幼稚園との連携を密にし、集団生活で気になる子どもについては、市の発達相談や医療機関を紹介し、子どもに応じた発達支援に結び付けている。

今後、外出時の乳幼児のおむつ交換や授乳に対応できる施設を調査し早い時期に市民にお知らせし、利用できるよう取り組みたい。また、新庁舎には、授乳室の設置など子育てに温かい施設として取り組みたい。

健康診査の充実を

問 5歳児健康診査を市独自で実施する考えは。

答 保健福祉部長
市では母子保健法に基づき、4カ月、7カ月、

実施している鳥取県では発達障害の発見率は9.3%と報告されている。本市では、保育所年中児を対象に実施した『ちよつと気になる子ども』の実態調査、保健師がフォローしている子どもを合わせて9.8%の把握率になっている。

現状の乳幼児健診と保育所等との情報交換を密にすることで十分同等の効果を得られていると考える。

紀の川警察署は必要

問 市内においての事件発生状況及び未成年者の補導状況はどうか。

答 総務部長・教育部長

平成21年度の刑法犯認知件数は、949件で、2年連続県下ワースト7位である。青少年犯罪は、増加傾向にあり、万引き、暴行は4件、不良行為は235件となっており、主なものは、深夜徘徊と喫煙となっている。

問

市内に警察署の出先機関はいくつあるのか。

答 総務部長

粉河幹部交番をはじめ、打田、貴志川、那賀の4カ所の交番と打田、桃山



地域を見守る交番

2カ所、粉河3カ所の計6カ所の駐在所がある。

問

住民の安全安心のため「紀の川警察署」が必要と考えるが市長の考えはどうか。

答 市長

警察署の誘致については、政策目標の一つである安全安心まちづくりの観点から、引き続き県に対して強く要望していく。

問

旧町にそれぞれ運動場及び体育館を保有しているが、今後、市民総合運動場及び体育館を新たに設置する考えはあるのか。

答 市長

実現化は、厳しいと思うが、実現化した場合は誘致する考えはある。

県営第2野球場誘致を

問

県営第2野球場新設の動きが具体化した場合、誘致の考えはどうか。

答 市長

実現化は、厳しいと思うが、実現化した場合は誘致する考えはある。

サロン活動に支援を

問

独り暮らしの高齢者が、家に閉じ込められたままにならない様に、地域住民との交流や仲間づくりなどを目的に、社会福祉協議会が実施主体になってボランティアの人の協力を得て、ふれあい・いきいきサロンが実施されているが、このサロン活動についての認識は。

答 保健福祉部長

サロン活動事業は、ボランティアの人の協力も頂き高齢者のつどいの場として大変好評と聞いている。地域で高齢者を支える環境づくりという意味から有難いことだと感謝している。

問

高齢者の中で定着しつつあるサロン活動を行政としてどう支援していくのか。

答 保健福祉部長

本当にこれから必要となる事業であると考えている。社協と今後協議をしながら、力を入れていくよう要望もしていく。

答 市長

高齢者が元気で過ごせるという事は市にとっても大変有難いことであるので推進していきたい。

問

粉中PTAが実施したアンケートの結果が移転を進める最大の参考資料になっているという認識で良いのか。

答 教育部長

当時の粉中PTA役員会で移転改築した方が、在校生への影響も最小限に軽減できるものと判断されアンケートを実施されたことと認識している。

アンケートの重みは

問

今回のアンケートは、PTAが実施されたものであるが、このことにかかわらず、行政が重要な政策課題を進める上で参考としていくために取るアンケートによる意向調査についてどのような考えを持っているのか。

答 教育部長

事業決定する中で、住民の意見を尊重するということとは充分考えていかなければならない重要なことだと思っている。



いきいきサロン



森田 幾久 議員



岡田 勉 議員



井沼 武彦 議員

2級品(3級品)の農産物を宝に

問

紀の川市は温暖な気候に恵まれいろいろな作物ができるが、今までなかったような大雨や凍霜害が起きています。

また肥料、農業の大幅な値上がりにより、農業では生活できなくなっている。農業は基幹産業と言うがどのように考えているか。

答

農林商工部長

紀の川市の農業の振興は、市内の商工業の振興とも直結しているので、市全体が元気になるためには、基幹産業が元気になる必要がある。

凍霜害被害に対する無利子融資や桃を皮切りに、

トップセールスに取り組み。

問

今農業するうえで一番こまっている事は、果樹などの2級品・3級品販売なので、付加価値のつく生産加工所を、商工会・JAと協力して作ってほしい。

答

農林商工部長

紀の川市の基幹産業である農業振興を図るためには、2級品等の加工産業の育成など農業の6次産業化を進める必要がある。

今後JAと協力して、商工会とも連携しながら県や国の助成をお願いして取り組みを検討する。

問

市長は2期目のスタートのなかで虎のような元気な市づくり、本市の農業は果樹主体であり、2級品3級品が加工できる産業に取り組み、雇用促進を図るとあるが具体的な取り組みは。

答

市長

農業を取り巻く状況は非常に厳しいが、基幹産業の農業、農家の皆さん方が元気になっていただけない事には紀の川市の発展もない。今後JAまたあらゆる団体と相談して、農業の発展に力を入れる。



農産物の加工



石井 仁 議員

皆保険の保障は

問

紀の川市では、現在、37世帯が資格証明書、655世帯が短期被保険者証を発行されていると聞く。

また今年4月1日時点で、短期証発行世帯のうち369世帯が市役所の窓口で保険証を留め置きされ、手元に届いていない状況にある。

国民皆保険制度の土台として、短期証・資格証世帯の保健事業を含む医療受給権について、紀の川市はきちんと保障されていると考えるか。

答

市民部長

特別の事情がなく滞納されている被保険者には、短期証、資格証の交付を行って、交付に至るまでには納税相談を設け



来年の税率は

問

23年度以降の国保税率をどう設定していく考えか。

答

市民部長

平成23年度以降については、保険給付費及び後期高齢者支援金等の支出がさらに増加するもの予想され、負担していただく保険税もこれらの支出に見合った税率に改正をお願いする時期であると考えており、平成21年度の決算の状況等も加味した上で検討していきたい。

なお、市単独事業である脳ドック助成事業については、負担の公平という観点から滞納世帯は、助成の対象外とさせていただいている。

庁舎建設調査特別委員会調査報告

本委員会は、平成18年第2回定例会（平成18年9月22日開催）において、「新庁舎建設に関し必要な事項をより詳細に調査研究を行う」ことを目的に設置され今日まで調査活動を行ってまいりました。

委員会は、14回開催し、新庁舎建設に関し、「現状の分析」、「メリット・デメリット」、「庁舎建設検討委員会における協議内容」、「建設候補地の選定」、「各支所の活用方法」等について調査研究を行い、平成20年9月19日開催した第8回の委員会において「現有地を中心に新庁舎を建設すべき」と決めています。その後、更に新庁舎の施設・設備等について調査を行いました。

を研修しています。

その中で、三重県志摩市・鈴鹿市、兵庫県栗原市・京都府木津川市の庁舎建設が特に参考となりました。いずれの庁舎も、人と環境にやさしい庁舎、防災拠点としての庁舎、省エネルギーを基本に建設されており、太陽光発電、自然通風、雨水をトイレの洗浄水や植栽の散水に利用するなど環境に配慮し、さらに、耐震性の高い構造で、大地震などの災害時に防災拠点となるよう建設されています。

以上のように設置目的に沿い慎重に調査研究を行った結果、新庁舎の建設は、紀の川市にとつて非常に大きな事業であり、市民の関心も高く、経済性・住民サービス・利便性の向上等が求められており、平成22年6月3日に開催した委員会において提言・要望を取りまとめ本委員会の調査報告を行いました。

議会設備についての要望

(1) 議場

- ・ 議場内でのパソコンの使用を可能にする（アクセスポイントの設置）
- ・ 議場スペースをできる限り確保する
- ・ 議席数は、柔軟に対応できるようにする
- ・ 自然光を取り入れできるだけ明るくする
- ・ バリアフリー（フラット又は、スロープを設ける）とし車椅子に対応できる構造とする
- ・ 傍聴席
- ・ バリアフリー（フラット又は、スロープを設ける）とし車椅子に対応できる構造とする
- ・ 車イス用の席を設ける
- ・ 一般席と記者席を区分する
- ・ (3) 質問方式について
- ・ 質問形式は、対面方式を取り入れる
- ・ 質問席は、固定式とする
- ・ (4) 議会設備等

(2) 庁舎建設に対する意見

- ・ TVモニターに、発言者の氏名・役職のテロップを表示する
- ・ IT化を図る（インターネットによる議会情報の開示を検討する）
- ・ 庁舎内で市民が集まる場所に議会が見られるモニターを設置
- ・ (5) 会派室について
- ・ 会派室のスペースを確保し、間仕切りは、可動式とし人員の増減に対応できる構造
- ・ 会派室でのパソコン・テレビ等の使用を可能にする（アクセスポイントの設置）
- ・ (1) 構造等
- ・ 耐震性の高い構造にし、大地震などの災害時に防災拠点となる庁舎とする
- ・ 庁舎建設に要する費用について、工事費・材料費・設備・備品費等の価格は、比較検討を行い経費は最小限とし、良質のものを取り入れる

(3) その他

- ・ 庁舎内は、壁面等には紀州材等を使用し、温かみのある庁舎とする
- ・ 施設と設備は安全で使いやすいよう、きめ細かく配慮する
- ・ 自然環境を利用したエコ対策やエコナビを最大限導入する
- ・ 旧庁舎は、地域の活性化を図れるような、住民の目線に立った活用方法を考える必要がある
- ・ (2) 利便性
- ・ 小さな子ども連れの来庁者に十分な配慮を行う（授乳室・子供が遊べるスペースを設ける）
- ・ 市民窓口は、すべての人に優しいフロア、わかりやすい窓口とするため、
- ① 各課の案内を番号表示とする
- ② 受付は、ローカウナーとし、又執務室内のロッカーは低いものを設置し、フロア全体が見渡せるようにする

(3) その他

- ・ 財源については、合併特例債を最大限有効に活用する
- ③ 来庁者の流れを考慮した課の配置をし、2Fへの動線を容易にするためエレベーターの他エスカレーターを設ける



三重県志摩市役所視察 (H21.4.23)

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会は5月7日、市内文化財及び公民館活動等について所管事務調査を行いました。

まず、教育委員会から市内文化財の現状や公民館活動について説明を受けたあと、現地調査を行いました。

粉河寺では、平成18年から約4年をかけ修復した庭園を中心に視察を行いました。この庭園は40年前に作庭され、国指定名勝にもなっている庭園であるが、経年の変化により組み石の緩み等が発生しており、粉河寺が事



粉河寺庭園にて

は、敷地内に公園のほかに歴史民俗資料館や歴史体験教室で復元した竪穴式住居等があり、家族でも楽しめる施設であります。このように5町合併により誕生し、もうすぐ5年を迎える紀の川市には、数



旧名手宿本陣を視察

多くの文化財があり、こういった施設を市民全体に周知していく必要性を感じました。

また、公民館活動については、現在、旧町単位において、地区公民館をおき地域住民のための拠点とし、それぞれ独自の講座等を開設し、90%近い応募率になっているとのことでした。公民館は家庭及び地域社会との連携を推進する拠点として、地域の実情に応じた運営また地域住民が利用しやすい拠点となるように努力し、活動を進めていく必要性を感じました。

産業建設常任委員会

5月10日に①市道井田中ノ才線道路改良工事②川原地区凍霜害現地③北山地区ほ場整備事業について現地視察を行いました。

井田中ノ才線は、川原地区を視察しました。3月27日、4月25日の低温によるもので紀の川市全域で、柿325ha(被害額約2億2千5百万円)キウイフルーツ6.9ha(同82万円)梅19.7ha(同143万円)合計被害面積351.6ha、被害額約2億2千7百万円被害を受けています。



北山地区ほ場整備

市として被害を受けた生産者に対し、生活営農資金の借り入れに対する利子補給を検討しています。

北山地区ほ場整備事業は、この地区は、地形条件が悪くかつ基盤整備の遅れが目立ち、農業経営が苦しい状況であり、また地区内では農業就労者の高齢化が進み後継者も深刻です。これ



凍霜害現場

ら、解消のため本事業を和歌山県が主体となり実施しています。事業は、平成20年度、平成25年度までの6年間で事業費約6億8千4百万円(国55%県30%市5%受益者10%)農業用排水施設2千935m農道555m、ほ場整備13.4haの整備を行います。

また、JA紀の里農協への行政視察研修を行い、「JA紀の里長期5ヵ年計画」「JA紀の里長期5ヵ年農業振興計画」等の説明を受け紀の川市の農業施策について研修を行なっています。

厚生常任委員会

5月11日、保育行政についての所管事務調査・視察研修を行いました。午前中は、紀の川市の保育行政について今後の課題を研究するため、最近統合した名手保育所と安楽川保育所を見学しました。

統一し、入所児が増えた中で、子どもたちがどのような環境で保育されているのか、施設は十分整備できているのかを調査しましたが、各施設とも飾りつけなどで子どもたちがなじみやすいように工夫されており、園児と保育スタッフとの信頼関係もしっかりと築けて



第二保育所

岩出第二保育所 岩出第二保育所は、平成21年4月に岡田にある岩出第二保育所を民営化されており、民営化までの経緯などの説明を受けました。民営化の理由としては、各地区に公立・私立の保育所があることで、保護者に選択の幅が広がるためとのことでした。

現在岩出第二保育所を運営されているさつき保育園では、新たな保育サービスとして、外部の専門家によるペン習字教室や体操クラブを取り入れられており、大変好評とのことでした。また、地域との密着・信頼関係が大切だと考え、今後もより一層保育を充実させていくとのことでした。



園庭で遊ぶ子どもたち

委員会報告

庁舎建設調査特別委員会視察研修報告

5月13日・14日に、庁舎建設調査特別委員会が兵庫県宍粟市と京都府木津川市へ視察研修を行いました。

宍粟市は、平成17年4月1日に旧宍粟郡の4町が合併した人口約4万3千人の市で、合併後、旧宍粟郡広域センターと兵庫県山崎庁舎の一部を市役所として使用していました。

宍粟市は、平成21年9月に完成し概要は、鉄筋コンクリート造・地上5階建・延床面積6千690㎡、総事業費約24億8千900万円、合併特例債22億2千420万円、一般財源2千300万円です。新庁舎の特徴は、

- (1)地域の「宍粟材」を活用
- (2)障害者、高齢者にも使いやすい建物。窓口機能を1階に集約、ローカウターとし、総合案内を設置
- (3)環境、省エネルギー対策としてエコボイドを設置し①自然換気を確保し②自然光を取り入れ経

- (4)免震構造
- (5)会議のモニターは、市民ロビー、委員会室等に8台設置し又、会議録等をインターネット等で配信を検討しています。
- (6)また、木津川市は、平成19年3月12日に木津町加茂町、山城町が合併した人口約6万9千人の市で、合併後、旧庁舎を市役所、支所として使用して

- (7)駐車場照明を太陽光発電により夜間点灯
- (8)蓄熱式空調により、電気料金を低減
- (9)免震装置を設置
- (10)会議設備の特徴は①議員席、質問席を可動式にし、マイクをコードレス
- (11)②委員会室・会派室の間仕切りは可動式で、人員の増減に対応
- (12)③車椅子に対応するため議場内は、フラット
- (13)④両市とも、人と環境にやさしい庁舎、防災拠点としての庁舎、省エネルギーを基本に建設されました。



宍粟市議会議場

環境対策調査特別委員会

候補地を調査

5月28日、当委員会は紀の川市、海南市、紀美野町の2市1町で進められている広域ごみ処理場建設予定地紀の川市候補地の現地調査を行いました。

場所は、桃山町最上地区にあり、付近の高台から候補地の位置を確認しましたが、送電線の鉄塔が建っており、委員からは電磁波による人体への影響も十分調査した方がよいのではとの意見もありました。

紀美野町にも候補地があり、建設地は4月に設立された「紀の海広域施設組合」（貴志川支所内）において検討された後、最終決定されます。



他市議会から本市を視察

京都府舞鶴市議会

4月26日に京都府舞鶴市議会議会報編集委員会の皆さんが、議会報の編集について視察に訪れました。市役所本庁会議室で、議会報の編集に関し、編集主体・発行回数、発部数、経費・規格等について、また編集委員会の委員の任期・費用弁償等について説明と意見交換を行いました。

鹿児島県指宿市議会

5月12日に鹿児島県指宿市議会産業建設委員会の皆さんが本市の食育推進計画について視察に来られました。まず、青洲の里で、地産地消で取り組んでいる健康バイキングの食事をとった後、研修を行い、食育推進計画の策定経緯、地産地消の取り入れ方、食生活改善推進員と紀の川生活研究グループの成り立

ちについて等説明を行い意見交換しました。

その後、JA紀の里「めっけもん広場」を訪れ担当者から概要説明を受け、視察を行いました。

岩出市議会

4月27日に岩出市議会総務文教常任委員会の皆さんが、小学校の太陽光発電設備について視察に訪れました。昨年度、新築した安楽

川小学校屋上に設置している太陽光発電設備を見学し、本市教育委員会から事業費・設置条件による発電量の比較・設置方法等の説明をし、その後、質疑・意見交換を行いました。

7月6日、岩出市議

会広報常任委員会の皆さんと本市議会広報編集特別委員会委員が、議会広報づくりについて意見交換会を行いました。

広報発行までの過程について説明した後、お互いの広報紙を見比べながら、どのような広報紙にすれば市民に議会の活動をより分かってもらえるのか、読みやすい紙面とは、写真撮影のテクニックなど編集する側として常



岩出市議会が小学校を視察

に課題を感じている点を話し合いました。

隣接市ということもあり、最初は相手の広報について遠慮がちに発言していた各委員も、会が進むにつれ率直な意見が飛び交い、最後には今後も情報交換を行いながら、切磋琢磨し、よりよい広報紙を作っていくことを誓いあえた研修会でした。



意見書

……………「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書……………

今日、選択的夫婦別姓に関する国民世論は分かれており、国民的合意には至っていません。

また、三世代同居の減少など家庭をとりまく環境の変化に加え、離婚の増加、児童虐待等、家族の絆が希薄になっており、これらを憂う立場から伝統的家族の価値観を尊重する国民感情も根強くあります。

本来、民法は家族を保護するための基本的な法制度であり、安定した家庭生活が営まれるよう夫婦関係、親子関係等を保護しているものであります。

したがって、選択的夫婦別姓制度が導入されることになれば、夫婦の一体感の希薄化、しいては、離婚が容易にできる社会システムの形成に繋がることが懸念されます。のみならず、親子別姓や（場合によっては兄弟別姓をもたらすこともあり）子どもの心に取り返しのつかない傷を与えることになりかねません。子どもに与える影響を鑑みれば我が国の将来に大きな禍根を残すことになるかと危惧するものであります。

家庭の重要性が叫ばれる今日、むしろ必要なのは社会と国家の基本単位である家族の一体感の再認識であり、家族の絆を強化する施策ではないでしょうか。

なお、一部の働く女性から旧姓使用を求める声がありますが、これについては、民法を改正する必要はなく、各分野の運用面での対応等で、現実的方策による解決を図るべきであります。

以上の内容を踏まえ、政府に、婚姻制度や家族のあり方に極めて重大な影響をおよぼす「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を強く求めるものであります。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年6月16日

和歌山県紀の川市議会

[提出先]

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 法務大臣

虚礼廃止にご理解・ご協力を!

市議会では、公職選挙法等に基づき、虚礼を廃止した議員活動を行っています。具体的には、次のような項目です。市民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

- ◆冠婚葬祭、慶事、見舞いおよび各種行事等における寄付行為の禁止（本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く）
- ◆あいさつ状の禁止
- ◆議員名、議員団名および会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
- ◆中元や歳暮の贈答はしない
- ◆お祝い・おくやみ電報等は出さない（親戚・友人は除く）



特集

紀の川市の歴史を散歩 Part7

今年で生誕250年を迎える医聖 華岡青洲。今回はゆかりの地を訪ねます。

まずは、生誕の地であり、住宅兼診療所である主屋などを復元した西野山の春林軒①。青洲が医療技術の研究と患者の診療・看護に先進的に取り組み、千人を超える門人を指導した様子が再現されています。

1804年世界初の麻酔薬にマンダラゲを主成分とする「通仙散^{つうせんさん}」を用いて乳がん手術を成功させ、その後も多くの外科手術を手がけて、難病に苦しむ人々を救いました。近くにある青洲の墓は、遺徳を慕う多くの人々がお参りに訪れています。

フラワーヒルミュージアム②は、マンダラゲの花をモチーフに建築家 黒川紀章氏により設計された建物。中には華岡青洲の遺品や資料の展示室、紀の川市で採れた新鮮な野菜をいっぱい使った健康バイキングのレストラン、米粉パン工房、会議室があります。

青洲の偉業は、春林軒から北へ数百mのところにと造られた「垣内池」③にもしのばれます。私財を投じて農民の困窮を救いました。

さて、青洲の麻酔薬の研究には、妻加恵と母於継の献身が大きな役割を果たしたことは、有吉佐和子の小説『華岡青洲の妻』で広く知られています。加恵の実家は江戸時代の大庄屋で、その屋敷は藩主の参勤交代の宿や鷹狩りに使われた「旧名手宿本陣」④です。大和街道に面する約940坪の敷地に重要文化財の主屋などがあります。

大和街道の近くには、光明寺の松⑤や大畑才蔵が開削した小田井用水が穴伏川を渡る、龍之渡井⑥などたくさん見所があります。名手市場の趣ある街並みを歩いてみてはいかがでしょうか。



1 春林軒



4 旧名手宿本陣



3 垣内池



2 フラワーヒルミュージアム



5 光明寺の松



6 龍之渡井



短冊に願いを込めて (名手保育所)



鯉を放流 (佐川)
きれいな川を守っていこう!



夏だ! 記録にチャレンジ
(丸栖小学校)



おいしい桃 最盛期



ホタルの乱舞 (岸小野)



みんなの力で

ある市民の方より、広報『紀の川』と『市議会だより』が別々に製本されている、財政が厳しい中で、一冊の広報誌に統合してはと要望が出されました。

『市議会だより』の編集は、審議の経過や内容各委員会活動や一般質問を中心に行う事となっており、同じ事柄であつてもそれぞれの立場により異った視点からの記事として評価・紹介することになります。また双方をご覧になることにより、市政全般に目を通ることもなります。配布については広報『紀の川』と一緒にしております。

私達広報委員会は、「議会」と「執行機関」の立場を常に明確に保ちながら、議会の内容をもっと市民の方々に知って頂きたいとの思いで、何回も委員会を開き毎号発刊にこぎつけている状態です。ご理解よろしく申し上げます。

(A・S)

編集後記